



賀春

2026年 民報編集部

「若い女性に選ばれるまち」 兵庫県豊岡市の挑戦に学ぶ

コウノトリの野生復帰事業で有名な兵庫県豊岡市。

全国のどの地方でも「人口減少・少子化」が問題になっていて、若者が外に出て行って帰ってこない「若者の社会減」が最大の要因と言われています。

豊岡市は、「若者回復率」という独自の指標を設定して分析しました。そこで分かったことは「男女差」の大ききでした。

景気が良ければ、都市部の大企業の採用が増え地元へ帰ってくる男性は減るが、景気が悪くなると、就職先を求めて地元へ帰ってくる男性が増える。

しかし、女性は一貫して「回復率」が低水準のまま下がっていることです。

「このまちで暮らす

価値」が若い女性に選ばれていなかった現実

に衝撃を受けました。そこで出されたのが、人口減少を乗り越えるための「ジェンダーギャップ解消戦略」です。2021年に策定された「戦略」の冒頭は、次の一文から始まっています。

「気がつくくと、若い女性たちが、まちからすーっといなくなっていました。」

市は、ジェンダーギャップ対策室の専門部署を設置して、最重要戦略に位置づけて取り組みを進めました。職場、家庭、学校、地域のあらゆる場面で、女性に役割を押し付ける固定観念（性別役割分担）や、女性に対する偏見を一掃すること。

男性が「都合良く、やりやすいようにしてきた」仕組みを見直し

きた」仕組みを見直し

て、女性が積極的に関われる仕組みに変える取り組みです。

ところが、女性が流出する町から女性に選ばれる町へ、立案実行を果した5期20年の実績ある市長が2021年の選挙で落選する「トヨタショック」。

2024年の選挙でも新しい市長に交替。しかし、市長が替わっても前進し続けているのが豊岡市です。

「行政はそもそもも継続性を求められている。市長が替わったからと言ってリセットされるものではない。」



「豊岡メソッド」日本経済新聞社発行を参照。

ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

白鳥の来る頃

庄内平野の田圃も田の神上げ（勤労感謝の日）を過ぎると、台地も深い眠りに入り、寂寥を感じる。

白鳥の群が田圃で泥の中に首を突っ込み、餌を食べている。

私の子ども頃は見たことはない。

コウコウと鳴き合っ てねぐらに帰る群を見ると、一抹の淋しさを感ずる。

元山形大学農学部教授の阿部襄教授（酒田市山寺）の『庄内の四季』の中から紹介したい。

わたしは戦前、満州にいたとき20〜30羽の群が、鉤になり竿になりして、低空を南方に飛んでいくのを何度も見た。

白鳥の群はコウコウと鳴き合っていた。

飛び去っていく南の空を見て、向こうは日本だろうと思った。

それが、昭和41年11月、酒田第三中学校の理科クラブの生徒たち

が、最上川に飛び来ていたのを見たと言う。

翌42年には、「白鳥を愛する会」も結成され、餌をやり、狩猟者から守る運動を始めた。

この白鳥はオオハクチヨウで、ただハクチヨウといわれている少し体が小さい白鳥が混じっている。

日本に渡来するのはオオハクチヨウで、欧州などの北地で繁殖して、そこが凍結する冬期間などに渡ってくるそうである。

わたしが戦前、満州で見たのは小型のハクチヨウだったかも知れない。

いつか羽黒の近くで、傷ついた白鳥を小学校で手当をしたが死んだ。それを剥製にしてほしいと頼まれたが、そばで見ると何と大きい鳥だろうと思った。

最上川河口の白鳥は3月頃までいて、こんどは一群、また一群と北に向かって帰って行く。

白鳥を愛する会の人たちは、我が子と別れる淋しい気持ちがすると言っていた。

長沼地区活動センター（旧長沼小学校資料館）に、白鳥の剥製がある。一見に値する。

白鳥も羽根を休めよ
ぼっぼの湯

白鳥に言葉あるなら教えてよ 何処の国の何が難所か



逢新年 新年を逢える 城貞（藤の花）

令和七歳夜除遷
衰老方知已網然
每驚時節思俗事
寒宵明日又逢年

令和七歳夜除遷る
衰老方に知る已に網然
時節に驚く毎に俗事を思う
寒宵明日又年を逢える

令和七年の大晦日となり、まもなく年が改まる。時の流れの速さに驚くたびに、世間の煩わしい事柄を考えたりする。

大晦日の寒い夜であるが、一夜明けると明日はやがて春につながる新年をむかえるのだ。



歳二年。
夜除 除夜（大晦日）。
遷 遷らたまる。
衰老 体力の衰えた老人。
方 ちようどいま。
知 感じる。
網然 茫然（ぼんやりしている）。
毎 そのたびごと。
時節 時の流。
俗事 世間の煩わしい雑事。
思 考える。
寒宵 寒い晩。

物価高騰対策、追加

12月市議会の最終日

に追加された一般会計補正予算の、物価高騰対策関連の予算は、次の通りです。

「生活応援商品券事業」6億2849万4千円
1セット5000円
(500円×10枚分)
の紙版商品券を、全市民に1人1セットを送付します。
使えるお店は、市内の中小・小規模事業者。(大手チェーン店、コンビニエンスストア、ドラッグストア等は対象外)

国の交付金等を活用した各施設への支援は、
「障害者施設等物価高騰対策支援事業」2441万円
「高齢者施設等物価高騰対策支援事業」4725万円
「児童福祉施設等運営継続支援事業」1660万円
「飼料価格高騰緊急支援事業」2802万6千円
「日本酒原料米価格高騰対策事業」1400万円
「物価高対応子育て応援手当支給事業」3億261万6千円
国の補正予算により0歳から高校3年生までのこどもに1人当たり2万円を支給。

東栄小獅子踊りものがたり⑩
獅子おどりの絵本になる

元東栄小教諭・吉野文夫



私が退職後、平成8年2月に、学習研究社から「ボランティアふれあいえほん」全16巻の中にとり上げられました。水原元先生がその資料と連絡の労をとられました。全国に、地域・学校での活動の一部が紹介されたわけです。

私も、日本教職員組合・全国教育研究集会で、平成6年と7年に、神戸と長崎で発表する機会に恵まれ、大きな評価をうけてきました。「ふるさとの人々が残した自然と文化をどう継承発展させるか」と

いう表題です。

退職後に、経過と子どもたちの姿をまとめようと、作文と絵をいただいておきましたが、佐藤幸男教育長、添川の重吉さん、正士さんと続けて急死に会い、獅子踊りに対する思いも聞くことができず、意欲をなくしていたところでした。記憶が薄れないうちに、民報に連載することになりました。断片的ですが、今後の活動に役立てばと思っております。

(つづく)

発言の取り消しを



隣の大きな家は、眼と鼻の先に離れを持っているのだが、大きな家と離れの家にいさかいがあつたら、その隣の小さな家の当主が鉄砲かついで乗り込むと公言したのだ。しかもその当主・前から我が家はそう言っていたんで何が悪い？と息巻いており、言いたいことがあれば戸はいつでも開いている・と開き直っているんだが

▲親子や兄弟の喧嘩は何処にでもある事。そんな喧嘩でもあれば、離れの家には鉄砲担いで行くと言うものだから大きな家の家主、我が家で何かあると隣が鉄砲担いで押しかけてクツドヤ。ナントカしてくれと役所に2度もお願いに行つたんだ。

▲そんなこと言つたものだから、やつと戻つた魚の買い上げがダメになり、人の往来にも

(石川)